会 議 録(3)

| 発言者 | 発 言 内 容 |
|---|---|
| | 午前10時00分 開会<br><br>1 開会 |
| 主幹 | 皆様ご多用のところをご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日は小槻委員、杉田委員、野村委員、平野委員からご欠席の連絡をいただいております。飯能市立博物館条例第15条第2項に規定されています「委員の2分の1以上の出席」をいただきましたので、これより令和6年度第1回飯能市立博物館協議会を開会いたします。<br><br>2 あいさつ |
| 主幹 | はじめに、馬場会長にごあいさつをお願いします。 |
| 会長 | (会長あいさつ) |
| 主幹 | ありがとうございました。<br>なお、傍聴者ですが、本日は申し込みがありませんでしたのでご報告いたします。<br>これより議事に入ります。議事の進行につきましては、条例第15条第1号の規定により、会長にお願いいたします。<br><br>3 議事 |
| 会長 | それでは議事に入ります。本日の議事について説明をお願いします。 |
| 館長 | 本日の議事は次第掲載のとおり、4件です。まずは「(1)令和5年度主要な事業報告」について、ご審議いただきたいと考えております。説明を申し上げます。<br><br>(資料1及び令和5年度市民学芸員活動一覧表に基づいて説明) |
| 会長 | ご説明ありがとうございました。それでは、「(1)令和5年度主要な事業報告」について、質疑のある方はお願いします。 |
| 委員 | 市民学芸員の活動は非常にいい取り組みをしています。協議会資料に載せてもらってよかったと思います。市民学芸員が古文書を翻刻した成果が次回の収蔵品展に活かされるとのことですので、展示解説など顔が見える場を作ってあげればより励みになるのではと思います。 |

| | |
|---|---|
| 会長 | 今回の資料で市民学芸員の活動が可視化されました。実際の活動のようすがよくわかるようになっています。麦作文化探求型の活動も細かくわかるようになりました。引き続き公表を続けてもらいたいと思います。<br>他にご意見等ございますか。 |
| 委員 | （なしの声あり） |
| 会長 | では次に、「(2) 令和6年度主要な事業報告・予定」について、説明をお願いします。 |
| 館長 | 「(2) 令和6年度主要な事業報告・予定」について説明いたします。<br><br>（資料 2 に基づいて説明） |
| 会長 | いかがでしょうか。 |
| 委員 | 収蔵品展の1日平均入館者数は 100 人越え、去年と比べて15人以上増加しています。好調の要因はどこにあるのでしょうか。 |
| 主幹 | おふだについての展示会は平成27年以来2回目となります。前回は1日当たりの入館者数は100人に満たないくらいでした。面白いという感想があったにもかかわらず、人数が伸びなかったのは残念でした。今回は前回を上回ることができ、また、リアクションが大きく、SNS 等の発信によるものか長野などの遠方からも問い合わせがありました。周知がうまくいったということと、大勢ではないものの興味を持っている方が一定数いるテーマだったということが、前年の吉祥文様よりも入館者が多かった理由ではないかと思います。 |
| 委員 | 広報がうまくいったということですね。そういった認知経路を調べていくことが大切だと思います。毎日では大変ですので、展示解説をする日だけでも調べてみるとよいと思います。アンケートの手渡しなども将来的に考えてみたほうがよいでしょう。 |
| 館長 | アンケートの集計がまだなので、今回はお伝え出来ませんが、集計が出ましたら「どこから来たのか」「何を見てきたのか」などのデータを整理して次回の協議会でお示しをしたいと思います。 |
| 会長 | 今回のおふだの展示会は、前回のバージョンアップになるのでしょうか。それとも新収蔵品を展示しているのでしょうか。 |
| 主幹 | 前回とは内容を変えています。前回は概要を知ってもらうためそれぞれの種類のおふだを少しずつ出してみました。今回はテーマを絵姿や御影と呼ばれるものに絞って、前回出し切れなかったものを展示しました。 |

| | |
|---|---|
| 会長 | 図録は出していないのですか。 |
| 主幹 | 前回も今回も図録はつくっていません。しかし、過去に出したおふだの収蔵資料目録などを会場の手に取ってもらえるようにしたところ売り上げが好調でした。 |
| 委員 | 今年度予定している東京大空襲についての展示と、特別展について詳細を教えてください。 |
| 館長 | 東京大空襲についての展示は実は丸木美術館で一昨年度実施したものをもとにしております。東京から飯能に疎開していた小学生が、飯能から見えた大空襲に遭い赤く染まった東の空を、その方の息子である画家が、どのような空の色だったのか対話をしながら復元して描いたものです。世田谷のお宅が燃えた後の色も再現されています。色の再現、色を合わせていった過程を紹介する展示です。また、当時の飯能のようすを示す資料も展示します。 |
| 主幹 | 特別展は 2 部構成になる予定です。第 1 部は飯能市の山間部に旅に来た人の記録を中心に紹介します。遊歴雑記には子の権現から秩父への行程の記載があります。また、江戸時代の旗本の妻である中山鈴子が長念寺へお参りに行った記録や、奥武蔵俳句寺として知られる竹寺、ほかに句碑、詩人などの作品、文人との交流を紹介する予定です。第 2 部では山の自然について、岩石・化石・鉱物など地質的な観点から山の成り立ちや土地柄の紹介をする予定です。先日館内での打ち合わせでこのような展示の方針が承認されましたので、主幹と主査が担当して実施していきます。 |
| 委員 | ハイキングや登山のお客も多いですので、特別展も人気が出るのではないでしょうか。期待しております。<br>空襲の展示について、絵を描いた方について説明してください。 |
| 館長 | 空襲の空を実際に見たのは画家の母親で、母親の記憶を解きほぐしながら描いた画家はその息子にあたります。民俗の聞き取りのような製作過程が興味深いと思います。 |
| 委員 | 飯能のどこに疎開していたのでしょうか。集団疎開ですか。 |
| 館長 | 現在の子ども図書館の近くのようです。集団疎開ではありません。お知り合いのお宅に疎開されていたと聞いております。 |
| 委員 | どちらの展示もお子さん向けの企画、お子さんが来て参加できるものもあるとよいと思います。 |
| 会長 | 画材は油絵ですか。会場は特別展示室ですか。 |

| | |
|---|---|
| 館長 | 画材は何種類も使って復元しているようです。完成された絵はアクリル絵の具です。場所は特別展示室です。絵だけではなく、空襲や焼夷弾についての説明もする予定ですが、物の展示をするのではなく、あくまで飯能から見て東京大空襲の空はどうだったのかという展示になります。 |
| 会長 | 飯能は空襲を受けましたか。 |
| 館長 | 熊谷のような街を焼き尽くすような空襲はありませんでしたが、軍需工場へ攻撃や機銃掃射はありました。このあたりだと狭山市笹井のあたりで空襲がありました。 |
| 会長 | 展示を見た人は飯能での戦災はどうだったのかと疑問に思うのではないでしょうか。地元の小学生などにもわかるような展示もあれば身近に感じることができるのではないでしょうか。余裕があれば取り組んでいただきたいと思います。 |
| 委員 | むかしのくらしの民家の再現はいつ頃の民家を想定していますか。 |
| 館長 | 明確に何年代と言えるものではないのですが、当館の民俗資料を中心に展示を構成しています。市内の実際の民家の調査データがあれば理想的なのですが、残念ながらありません。ですので、おおまかにエネルギー革命が起こる前の時代を想定しています。 |
| 委員 | 小学３年生にとってはあまり昔だとイメージを膨らませることが難しいかもしれません。子どもたちにとっては年代を追っての展示も良いかもしれません。 |
| 委員 | 今年度の加治小の歴史クラブとのかかわりについて教えてください。 |
| 館長 | 今年度も実施の予定ですが、昨年度よりも回数が減っています。当館で３回、生涯学習課文化財担当で２回の実施を予定しております。 |
| 委員 | ミニ展示でもいいので博物館で歴史クラブの成果を見られるようにしてもらえるとよいと思います。 |
| 会長 | 今年度の出張授業の実施はありましたか。 |
| 館長 | まだありません。歴史クラブも回数が減った関係で今のところ未実施となっています。 |
| 会長 | 特別展は内容がたくさんあるのはよいですが、スペースに収まるのか心配です。何でもかんでもあるというよりは、よく整理して展示したほうが見る人はわかりやすいと思います。 |

| | |
|---|---|
| | 他にご意見等ありませんか。 |
| 委員 | （なしの声あり） |
| 会長 | では次に、「(3) 令和6年度博物館評価」について、説明をお願いします。 |
| 館長 | 「(3) 令和6年度博物館評価」について説明します。<br><br>（資料3、及び第3期教育振興基本計画に基づく飯能市立博物館ミッションと令和6（2024）年度博物館評価対象事業（教育行政の重点施策含む）対応表に基づいて説明） |
| 会長 | 個別の案件は後で順番に審議します。まず全体についてご意見等ありますか。 |
| 委員 | 全体として掲げられているデジタル化、データ化の目標を達成するためには、そのための機材の充実が重要だと思います。機材などで現在不足しているものはあるのでしょうか。 |
| 館長 | これがなくて進められないという状況ではありませんが、精査して必要に応じ第 5 次飯能市総合振興計画実施計画のなかで要望していくなどをしていきたいと思います。 |
| 会長 | 対応表の但し書きに赤字は新規事業、青字は継続事業とありますが、赤字はないようです。 |
| 館長 | 今年度は新規事業はありません。説明した事業はすべて継続事業です。 |
| 会長 | 教育振興基本計画との関係はどうなっていますか。 |
| 館長 | 教育振興基本計画がベースとなっていて、それに基づいて教育行政の重点施策も設定されています。 |
| 委員 | 社会科研究展でのデジタルデータ出品はどのように展示するのでしょうか。また、最終的な展示の形はどういったものを目指すのか、社会科研究展は存続するのか教えてください。 |
| 主幹 | 学校でのタブレットの活用はかなり進んでいます。昨年度、教育センターで伺った話によると、動画で学習したり、タブレット端末上で簡単なまとめを作成したりもしているとのことです。博物館側としても学校に対応した受け皿となる必要があると思っております。社会科研究展にデジタル出品された場合は展示室に設置したタブレット端末で閲覧することを想定しています。しかしながら昨年度のデジタル作品の応募はありません |

| | |
|---|---|
| | でした。周知が不足していたのかもしれません。また、公立校よりも私立校のほうがさらにデジタル活用が進んでいるようです。館としても試行錯誤しているところです。 |
| 委員 | 今後、デジタルの活用は公立校もいずれ私立校に追いついていくと思います。しかし、そうした中でも社会科研究展ではデジタル作品だけでなくアナログ作品も受け入れて展示していくのでしょうか。 |
| 主幹 | はい、そのように考えています。小学3年生の博物館見学では、学校によっては教育方針上タブレットをあえて使わないところもありますので、学校教育がすべてデジタル化するとは思えませんし、博物館もすべてデジタル化すればよいと考えているわけではありません。 |
| 委員 | 実物を見ること、触ることに主眼を置いているのが博物館ですので、なんでもデジタル化すれば良いというわけではないと思います。うまく半々でやってもらえたらよいでしょう。 |
| 会長 | 他にご意見等ありますか。 |
| 委員 | (なしの声あり) |
| 会長 | では、個別の評価について審議します。<br>事業名、特別展「飯能のやま・たび」(仮称)の充実について、ご意見等ございますか。 |
| 委員 | 「これまでとは異なる広報」とはどのようなものでしょうか。 |
| 館長 | 今回は山がテーマですので、山登りをする方など、普段は博物館と接点がないかもしれない方々などにアプローチする広報を考えております。例えば市内にある登山用具店や、登山やハイキングなどの愛好者団体などこれまであまり縁のなかった方々に対して、博物館とつながりのある関係団体の協力を得ながら来館を呼び掛けていきたいと思っております。 |
| 会長 | 奥むさし飯能観光協会はどうですか。 |
| 館長 | 観光協会にも働きかけをしていく予定です。これまでもお互いに協力してきましたが、今回の特別展のテーマに興味を持ってもらえそうな団体の紹介などもお願いしたいと思っております。 |
| 会長 | 達成指標と目標値として、アンケート結果で「新たな知見を得、その魅力を発見した人の割合が80%以上」とされています。これについてはご異議ありますか。 |

| | |
|---|---|
| 委員 | （異議なしの声あり） |
| 会長 | 実施時期は4月からの活動ということは広報活動も含むのですか。 |
| 館長 | そのとおりです。 |
| 会長 | 今回は間に合わないと思いますが、事前に関係団体にアンケートを取っておき、特別展観覧によって事後のアンケートにどのような変化があるかなどというような調査をすることはあるのでしょうか。 |
| 館長 | 今までにやったことはありませんがそういった観点も大事かと思います。 |
| 委員 | そういったことをしている例はあまり聞いたことがありません。 |
| 会長 | 何か差が出てくればおもしろいですが、大変な作業になってしまうのかもしれませんね。 |
| 委員 | アンケートの設問を工夫することでわかることがあると思います。 |
| 会長 | 何についての知見を得たのか、魅力を発見したのか、わかるように工夫してほしいと思います。<br>他にご意見等ありますか。 |
| 委員 | （なしの声あり） |
| 会長 | 次に、事業名、収蔵資料の整理についてご意見等ありますか。 |
| 委員 | 資料整理に取り組むのは良いことだと思います。博物館登録は目指していますか。 |
| 会長 | 改正前の登録博物館として猶予期間は残り3年ですので、近々、県の文化財博物館課と協議の場を設けまして、博物館登録に向けて具体的なスケジュールを立てていきたいと思っています。 |
| 委員 | 登録には資料整理が重要です。これができていないために博物館登録されない事例が多いです。飯能市立博物館はこれだけ資料の整理がしっかりされているので、埼玉県での第1弾となった朝霞市に続き登録を目指してほしいと思います。 |
| 会長 | 資料整理は地道な仕事で大変だと思いますがしっかりやってほしいと思います。<br>他にご意見等ありますか。 |

| | |
|---|---|
| 委員 | （なしの声あり） |
| 会長 | 次に、事業名、市指定有形民俗文化財「落合家人形芝居及び説経節関連資料」（片瀬人形）の修理についてご意見等ありますか。 |
| 委員 | 広く公開とありますがいつ、どういう形を考えていますか。 |
| 館長 | 公開の手段として一番良いのは展示ですが、修理にかかわっている専門家の意見を交え、展示がよいのかどうか検討が必要です。教育委員会からも9年間にわたり毎年100万円支出している事業なので成果を市民に広く知ってもらうことが重要だと言われています。修理が終わって人形が戻ってくるのが年度末なので、公開する場合は年度末になると思っております。ただし、修理が終わったものがすぐに展示できるわけではありませんので、過去に修理が終わったものの中から選んで展示することになると思います。場所は歴史展示室を考えています。 |
| 委員 | 修理の予定は9年間で今年度は3年目となりますが、展示するとなると3年分ですか。 |
| 館長 | 修理後すぐのものは状態が安定していませんので、令和4年度と5年度の2年分になると考えています。 |
| 委員 | デジタル化よりもぜひ現物の展示をしてほしいと思います。また、芝居に使われていた人形なので、可能であれば説経節を聞きながらのお披露目できないものでしょうか。今年とは言いませんので。 |
| 館長 | 人形芝居については具体的にどのように使われていたのかわからないところがあります。しかしながら同じ家で行われていた芸能を見ていただくことで理解が深まると思いますので、検討していきたいと思います。 |
| 会長 | ミッションとして資料の価値を高めていくとあります。価値を高めた結果を展示するわけですが、価値を高めていく修理の過程を映像記録として残していくのはどうでしょうか。あるいは、展示する場合は修復前のようすがわかる写真を合わせて展示するのはどうでしょうか。 |
| 館長 | 修理の映像撮影については現状では行っておりませんが、修理過程の写真は修理報告書に掲載されています。毎年修理が終わった分に対して修理報告書が上がってきますので、それを多くの方に知っていただくことは大切だと考えています。どういうふうに修理していったのか理解できるように展示でも工夫したいと思います。 |
| 会長 | 修理している様子の映像をただ流すだけではあまり面白くないでしょうから、もし映像 |

| | |
|---|---|
| | 記録を作る場合は、30分くらいに編集した記録映画にできるとよいですね。<br>　他にご意見等ございませんか。 |
| 委員 | （なしの声あり） |
| 会長 | 　次に、事業名、飯能 GIGA スクールを活用した博学連携事業の推進について、ご意見等ありますか。 |
| 会長 | 　私立学校にも呼びかけるのですか。 |
| 館長 | 　コロナ禍前に呼びかけたことがあります。デジタル作品でなら出品できると言われたのですが、飯能 GIGA スクールも始まる前でしたので博物館としても対応することができませんでした。 |
| 会長 | 　デジタルデータの出品を目指すと達成指標にありますが、これは他力的なものではないですか。 |
| 館長 | 　昨年は先生方への呼びかけしかしていなかったのが実情です。募集の際にデジタル作品の例のようなものが示せないかと思案しています。児童・生徒からも何かデジタル作品が出品されればそれが呼び水になるのではと期待しています。どちらにしろ先生方の協力が必要となります。博学連携分野は、出張授業も含め博物館でなく学校が主体とならざるを得ないので、もどかしさを感じているところがあります。 |
| 会長 | 　博物館として出品への働きかけを強めることを達成指標にしたほうがよいと思います。<br>　他にご意見等ありますか。 |
| 委員 | （なしの声あり） |
| 会長 | 　次に、事業名、研究紀要第4号の充実についてご意見等ありますか。 |
| 委員 | 　研究紀要を出し続けるのは大切です。ぜひ続けてもらいたいと思います。展覧会などは終わってしまうと図録しか残らず、形は残らないですが、研究紀要で展覧会の報告・記録を写真なども交え、目に見える形で保存することができます。また、展覧会の担当者には展示や図録に反映しきれなかった余録のようなものも蓄積していると思うので、それを発表してもらうのもよいと思います。研究紀要は2年に1度ですから、1冊で2回分の展示記録を盛り込んでもらいたいと思います。 |
| 館長 | 　博物館報には特別展担当者が記載した自己評価を含めた展示の報告を掲載しております。また、展示にかかわる専門的な内容で図録に反映しきれなかったものについて |

| | |
|---|---|
| | は研究紀要に載せるようにしています。展示の記録というのは非常に大切であると考えていますので、引き続き取り組んでいきたいと思います。 |
| 会長 | 研究紀要は国会図書館に納本されるのですか。ウェブ上で公開というのはどのような形ですか。 |
| 館長 | 研究紀要は国会図書館に納本されています。また、現在は冊子体として刊行していることからそのコストがかかっています。ですので、財政当局からは必ず印刷単価を反映させてて有料で販売するようにと言われており、現在販売中のものはウェブ上で公開することができません。もっとも、紀要の一部の論文については公開しているものもあるのですが、なかなか参照されていないのが現状です。このまま冊子体で刊行を続けるのか、はじめから電子データで公開するほうがよいか、思案しているところです。電子データにしても博物館のホームページで公開しているだけで、どれだけ参照されるのか、検索に引っかかるのか、という問題もあります。現状では、財政当局の理解を得て紀要のすべてを公開することを目指しつつ、公開できているものをもう少し周知していきたいと考えております。 |
| 会長 | CiNii の検索で出てきますか。 |
| 館長 | CiNii の検索で出てきますが、本文を読むことはできません。 |
| 委員 | J-STAGE 等に登録して本文をアップしてあれば CiNii からも本文を読めるようになります。 |
| 館長 | ご指摘のとおりですので、J-STAGE の登録についても模索をしているところです。そうすればもう少し参照されるようになるのではないかと思っています。紀要のデジタル公開が可能になったら、次の段階として実施することを考えております。 |
| 会長 | 冊子体ではお金がかかっているし、売っているものなので公開に制限があることは仕方のない面がありますが、引き続き検討してほしいと思います。 |
| 委員 | 基本的には J-STAGE 等の登録を早くしてほしいと思います。最近の若い研究者は J-STAGE にないとそれ以上探したり冊子体をコピーしたりするような努力をしないようです。 |
| 会長 | 個人的には冊子体もあったほうがよいとは思いますが、いろいろと工夫されることを望みます。<br>達成指標①にあるように館内の報告・検証をすることはよいことですね。 |
| 館長 | 原稿を書きっぱなしにするのではなく、館内でよく検証してから出すということです。 |

| | |
|---|---|
| | あまり厳しい基準を設けると書く人がいなくなってしまう懸念もありますので、少しずつ高めていきたいと思います。 |
| 会長 | 原稿内容の報告は秋口とのことですので、差支えなければ協議会員に声をかけてもらえたら論文のチェックができるかもしれません。ご検討ください。<br>他にご意見等ありますか。 |
| 委員 | （なしの声あり） |
| 会長 | 次に、飯能河原・天覧山周辺の自然のビジターセンター的機能の充実についてご意見等ありますか。 |
| 会長 | 達成指標にワークショップとありますが、今はワークショップをやっていないのですか。また、誰がやるのですか。 |
| 館長 | 現在はワークシートやタッチ展示などが置いてありますが、指導者がついて教えるワークショップは実施していませんでした。目標は2回実施ですので、夏期に第1回を実施予定です。指導者については自然分野に詳しい市民学芸員にお願いしたいと考えております。 |
| 会長 | 他にご意見等ありますか。 |
| 委員 | （なしの声あり） |
| 会長 | それでは、「(4)その他」について、説明をお願いします。 |
| 館長 | （(4)その他資料に基づいて、博物館の沿革と開館以来の入館者数について説明） |
| 会長 | 入館者のカウント方法はどのようなものですか。 |
| 館長 | 玄関入口にセンサーがあります。団体の入館者は一人ひとりのカウントができないため、提出いただいた団体利用申請書の人数を加算しております。 |
| 会長 | 節目となる入館者をどのように見つけるのですか。 |
| 館長 | これまでの節目では、前日までの入館状況から達成予定日を予測し、入館者をカウントしながら待ち構えておりました。 |
| 会長 | 他にご意見等ありますか。 |

| | |
|---|---|
| 委員 | 昨年度原市場、また以前に吾野の特別展を実施しているので、順番に地域展を実施することを検討するとともに準備をしてほしいと思います。名栗地区でもコロナ禍以降、移住者が増えています。そういった方々が地域の歴史や民俗に興味を持たれて自分たちで調べていたりするようです。南高麗地区も同様です。移住者は事前に地域をよく調べて選んで住んでくれています。移住した地域にさらに興味を持ってもらえるよう博物館としてできることをやってほしいと思います。 |
| 館長 | 過去2回の地域展は地元からの要望でした。他の地域でもやってほしいという声もお聞きします。原市場も吾野も、また名栗村史の成果を展示した名栗も山間部の展示でしたので、地域のバランスや特色も踏まえて検討していきたいと思っています。 |
| 会長 | 地元からの要望が来る前に博物館でやってみてはいかがでしょうか。町田市の博物館で開催された地域展の展示は成功したそうで、来館者も増えたとのことです。 |
| 委員 | 特別展で実施した地域展の成果を常設展に反映してはどうでしょうか。 |
| 館長 | それも大切だと思っています。当館は「里」「町」「山」とゾーンが分かれているので反映しやすいかもしれません。検討したいと思います。 |
| 会長 | 逆に、地域展の成果を地域に持って行くような出前展示はやったことはないのですか。博物館が出ていくことも考えてはどうですか |
| 館長 | これまでにはありません。 |
| 会長 | 博物館で来館者を待っているだけでなく、博物館が出ていくことによって地域を巻き込むこともできるのではないかと思います。将来的には考えてもらえればと思います。 |
| | 4 その他 |
| 主幹 | ご審議ありがとうございました。それではその他について、何かございますか。 |
| 委員 | 県指定無形民俗文化財である下名栗の獅子舞の保存会長を今年から2年ほど務めることになっております。8月24日と25日の二日間、獅子舞が演じられますのでご覧になったことのない方はぜひ見に来ていただければと思います。 |
| 会長 | 獅子舞の担い手は不足していませんか。 |
| 委員 | 少子高齢化で担い手が減っているのが現状ですが、地区外の方も担い手になれるよう柔軟に対応しているため、今のところは大丈夫なようです。しかし10年後は厳しいかもしれません。 |

| | |
|---|---|
| 主幹 | それでは「4　その他」は以上といたします。<br><br>5　閉会 |
| 館長 | （館長あいさつ） |
| 主幹 | それでは以上をもちまして令和6年度第1回飯能市立博物館協議会を閉会いたします。<br><br>午前11時55分　閉会 |

議事のてん末、概要を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名します。

令和　　年　　月　　日

会長　の　署　名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿